



令和6年度 園だより 10月号

R6.10.1 認定こども園 敬愛短期大学附属幼稚園

9月といっても真夏のような暑さが続いて、熱中症アラートの出ない日はないほどでした。運動会に向けての取り組みもできるだけ短時間で行い、日によっては遊戯室を使って行うようにしました。十分にはできていませんが、子どもたちは楽しんで取り組むことができたようです。取り組みで汗をびしょりかいた後に水分補給をしてお部屋に戻ろうとすると「外であそびた〜い」との声で日陰を利用して元気に遊んでいました。子どもたちのパワーに圧倒されています。

外遊びは子どもにとって重要な意味を持ちます。毎日の天候や季節の植物、昆虫などに触れることで子どもの感性が育まれると言われていています。全く同じ日がないように、日々子どもは様々なことを感じながら遊んでいるのです。数年前には、空の雲をじっと観察して「この頃は空が高くなったから秋になったね」という子がいました。子どもの興味は様々で、毎日虫ばかり探している子、製作が好きで毎日作ったものを大事そうに抱えて帰る子、踊りが大好きでいつもニコニコと踊っている子、絵本が好きで毎日何冊も絵本を読んでいる子など個性にあふれています。今お子さんが何に興味を持っているのかを観察して、一緒に楽しめるとさらに興味が増えますね。これから秋らしくなると外で気持ちよく過ごせるようになります。親子で楽しめる遊びを見つけてみてください。

未来屋書店マリンピア店で10月12日(土) 11:00〜「えほんのよみきかせ会&ワークショップ」を開催することになりました。本園職員によるよみきかせは、昨年度に引き続き2回目となります。ワークショップでは、「おでこにはめてなりきりえほん」体験会やクラフトブック体験会も行います。4階イベントスペースにて行われますので、ご都合がつく方はお子さんと一緒にぜひお越しください。お待ちしております！

園長 和田 由美

	今月のねらい	今月のうた
年少	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことを進んでしようとする。 ・秋の自然に親しみ、興味・関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな栗の木の下で ・おうま
年中	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことに気づき、自分から取り組む。 ・秋の自然にふれ、生活やあそびに取り入れて楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな栗の木の下で ・ありさんのおはなし
年長	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を十分に動かして自分の力を発揮してあそんだり、競ったりして楽しむ。 ・興味をもって秋の自然に関わり、その不思議さや美しさを感じて表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな栗の木の下で ・おもちゃのチャチャチャ



こどもの姿から・・・ 9月の誕生会で先生たちが劇「3びきのやぎのがらがらどん」を行いました。見ている子どもたちは大興奮で、中にはトロールが怖くて泣きだす子もいたほどです。誕生会が終わってから、子どもたちの遊びで「がらがらどんごっこ」が大流行。年少さんも子ども同士で「〇〇しないとめだまをほじくるぞ〜」とセリフを言いながら楽しそうに遊んでいました。